



桜並木懇談会報告

「つくし野の桜並木」についての
市と住民の意見交換

日時：3月5日 10時～12時 場所：つくし野センター会議室
主催：つくし野4自治会 つくし野桜守りの会



はじめに：懇談会開催の趣旨

つくし野桜守りの会 代表 渡邊啓三

つくし野の桜は予想以上に老化が進行しており、枯木は逐年増加が予想されます。一方、昨年末の「桜並木アンケート」で、90%以上の方が桜並木の存続を希望してられることが分かりました。

合計278本の桜並木を植替えて存続させるためには、多額の費用がかかります。町田市の「財政難」の壁を乗り越えるためには「住民の意向の結集」が必要です。「落ち葉掃除」、「歩道の安全」等の問題や、「樹種の選択」、「植栽環境の整備」等「桜並木はどうあるべきか」について話し合い、市の意見もお聞きして、住民の合意をまとめて行きたいと思い、4自治会に協力頂いて、この懇談会を開きました。今回の懇談会のパネラーとして、公園緑地課主査の永野さんに参加頂きました。



町田市市役所 環境産業部公園緑地課 主査 永野 修氏

昨年12月に行われた「桜並木アンケート」調査結果を基に話を進めたい。回収率75.2%、一定の条件下で桜並木の存続を求める方が90%と、共に高い数字を示しているので、桜並木を残すことを前提に話したい。

市の財政は、税収増が望めず厳しい状況にある。高齢化対策に平行して少子化対策が急務とされる現状であり、桜並木保存への予算計上にはかなり厚い壁がある。

住民の意識をどう纏めるか。「桜並木存続」の総論賛成でも、「落ち葉」の問題とか「樹種の選択」などの各論で住民の意見がまとまらないと事業は進めにくい。

具体的な施策面では、2月21日に市と「桜守りの会」との協働事業として、貝がら公園付近の桜3本を対象に、土壌改良による樹勢回復の実験作業を行った。再来年度予算では作業規模を拡大することを考えている。

今後の選択肢としては、植樹柵の拡大、植樹柵からグリーンベルトへの変更、樹種の変更等の他、全体的な桜並木の再整備等も考えられる。これらの点について、地域の方と話しあっていきたい。



出席者の意見・市への質問

桜並木沿道の住民から：

- * 桜の木の成長につれ、歩道が歩きにくくなっている。
- * 中央桜通りの並木は歩道の真中に植わっている。すれ違いの時には車道を歩くこともある。他の並木のように車道際に植えれば歩道が広く歩き易くなる。
- * 住民の老齡化に伴い、落ち葉掃きなどの作業が負担になっている。
 - ・道路の管理として、市が清掃できないものか。
 - ・ボランティア、または自治会の活動として考えてはどうだろうか。
 - ・「桜並木の落葉は、街の皆で掃除する公共のゴミ」の意識を広めて、沿道の住民の落葉掃除に対する心理的な負担を軽減できないか。

市の財政が厳しい状況にあることはわかるが、桜並木保全への予算の見通しは？

桜の木の伐採は、どのような基準で行われているのだろうか。

今後、枯れ木等が増えることが予想されるが、対策をどう考えるべきか。

1本の桜の木の植替えに、どの程度の費用を要するのか。

環境の変化が、桜の木に及ぼす影響は大きいと思われる。将来を考慮しての、並木構成を考えるべきではないか。

等々多様な意見、質問がありました。



市の回答

桜並木保存の予算について：

皆さんの熱意が大きいことが伝わり、長期計画での予算立てを検討する方向にある。その間にも、枯れ木、倒木については、基本的に植え替える。

植替えの費用について：

対業者の予算管理上申し上げられないが、1本ウン十万円。

小規模の工事は割高につくが、大規模に再整備のような形でやれば割安になる。

道路の清掃について：

市が管理する並木道は94.3kmにも及び、この清掃を全て市で行うと予算的に他の事、例えば、剪定、農薬撒布、枯木の植替え等にしわ寄せがいく。

ただ、これも選択肢の一つなので、地域の皆さんで話し合ってもらいたい。



4丁目自治会より

「前回の桜並木アンケートに4丁目は参加頂けなかった。4丁目も地域の問題として桜並木の問題に取り組んで欲しい。」との、他丁目住民からの要望に対して、4丁目自治会長から下記の回答がありました。

4丁目は田園都市線を挟んで桜並木から離れている。このため、1, 2丁目等と同じ重みでアンケートに参加することを遠慮した。

桜並木については他の自治会と協調していく方針で、「桜守りの会」の活動支援についても次期自治会長にきちんと引き継いでいる。



おわりに：

つくし野桜守りの会

おかげさまで、町田市の名所の一つでもある”つくし野の桜並木”についての市の基本的な考えがよく分かりました。

懇談会の時間的な制約から、住民の意見、市への質問は十分には行えず、「植替え樹種の選択」、「植栽環境の改善」、ひいては選択肢の一つである「全般的な並木の再整備」の問題等など、まだまだ多くの問題が残っています。

「地域の住民の望む桜並木はどのようなものか」をとりまとめて、その実現を市に要請するために、引き続いて、つくし野4自治会の協力を得てこの懇談会を続けて行きたいと思います。

多くの方々の参加を期待しています。

以上



掘り上げられた腐った根
中央桜通り（C4）
平成19年3月5日



枯れた桜の抜根作業
中央桜通り（C4）
平成19年3月5日